建設副産物情報交換システム(COBRIS)

における調査データの確認の要点

平成26年12月

東京都建設副産物対策協議会

目 次

1. 工事データの確認に必要な作業の流れ	1
2. 工事監督員の作業について	2
2-1. 工事登録証明書及び再生資源利用計画書(実施書)確認の要点	2
2-2 . 工事データの確認手順及び要点	6
2-2-1 . 工事データの確認手順	8
2-2-2. 工事データの確認要点	14
2-3. チェックリストによる確認の要点	19
2-3-1. チェックリストによる確認方法	20

1. 工事データの確認に必要な作業の流れ

受注者が COBRIS にて登録した工事データを工事監督員が確認するタイミングは、受注者が工事施 工計画を作成したとき、途中で施工計画が変更となったとき、施工が完了したとき、となります。こ のとき各段階で工事監督員がする作業は以下の通りです。

- ① 工事登録証明書及び再生資源利用[促進]計画書(実施書)の確認
- ② 工事データの確認
- ③ チェックリストによる確認
- ④ (修正がなければ)受注者に対し、工事データに問題がないことを連絡
- ⑤ (修正があれば)受注者に対し、工事データの修正を依頼

	受注者	工事監督員
施工計画作成時(施工計画変更時)	「工事登録証明書」及び「再生資源利用[促 進]計画書」の提出 【修正依頼あり時】 ①工事データの修正 ②「工事登録証明書」及び「再生資源利用 [促進]計画書」の再提出	 工事監督員は必ず以下の確認を行ってください。 ①「工事登録証明書」及び「再生資源利用 [促進]計画書」の確認 ②工事データの確認 ③チェックリストによる確認 【確認結果】 問題なし:問題がないことを連絡 問題あり:工事データの修正依頼
施工完了時	「工事登録証明書」及び「再生資源利用[促 進]実施書」の提出 【修正依頼あり時】 ①工事データの修正 ②「工事登録証明書」及び「再生資源利用 [促進]実施書」の再提出	 工事監督員は必ず以下の確認を行ってください。 ①「工事登録証明書」及び「再生資源利用 [促進]実施書」の確認 ②工事データの確認 ③チェックリストによる確認 【確認結果】 問題なし:問題がないことを連絡 問題あり:工事データの修正依頼

表 1-1 工事データの確認に必要な作業の流れ

※工事監督員は必ず以上の確認を行ってください。

2. 工事監督員の作業について

2-1. 工事登録証明書及び再生資源利用計画書(実施書)確認の要点

受注者が提出した「工事登録証明書」及び「再生資源利用[促進]計画書(実施書)」を確認するた めの要点は以下となります。

なお、その他の注意事項に関しては【別掲資料】を参考にしてください。

■ 工事登録証明書について

- ・ 建設業許可番号及び請負会社名に間違いは無いか?
- 調査区分が『計画のみ』となっているか?(施工完了時の確認では調査区分が『計画・実施』 となっているか?)

※『実施のみ』となっている場合は計画が未登録の状態を示す。

・ 発注機関等の工事概要に間違いがないか?

■ 再生資源利用計画書(実施書)について

【表面】

- ・ 右上の工事 ID が工事登録証明書の右上に記された工事 ID と一致するか?
- 様式名に誤りがないか?

<施工計画作成時>

様式1・イ 再生資源利用計画書 -建設資材搬入工事用- -「建設リサイクルガイドラ イン」、「建設リサイクル法第11条通知別表」対応版-

<施工完了時>

様式1 再生資源利用実施書 ー建設資材搬入工事用ー ー「建設リサイクルガイドライン」、 「建設リサイクル法第18条再資源化報告」、「H24建設副産物実態調査」対応版ー

- 1. 工事概要の横は計画書の場合、『計画』となっているか? (実施書の場合、『実施』となっているか?)
- ・ 工事概要、建設資材利用計画(実施)の内容に問題はないか?

【裏面】

- ・ 右上の工事 ID が工事登録証明書の右上に記された工事 ID と一致するか?
- 様式名に誤りがないか?
 - <施工計画作成時>

様式2・ロ 再生資源利用促進計画書 -建設副産物搬出工事用-

<施工完了時>

様式2 再生資源利用促進実施書 -建設副産物搬出工事用-

・ 建設副産物搬出計画(実施)の内容に問題はないか?

(1) 工事登録証明書の確認要点



(1)

・ 「建設許可番号」に間違いがないか?

・ 「請負会社名」に間違いがないか?

(2)

- ・ 「調査区分」に間違いがないか?
 - <施工計画作成時>

調査区分:計画のみ

<施工完了時>

調查区分:計画·実施

- ※ 「実施のみ」は計画が未登録を意味しています。
- ・ 発注機関等、「工事概要」に間違いがないか?

図 2-1 工事登録証明書確認の要点

(2) 再生資源利用[促進]計画書(実施書)の確認要点

1. 2	エ事概	表示 (1991)	and the set of the set	war 政治道理中。	- 541	発注担当者チェック 復 担当者 単設大郎		18.8.1 18.8.8.5	会社名 阿 第九は	 (株) 〇〇建設 国土交通 	2	議員会社コー 般999981号 8 6 0	-F*2 8	<u>北田</u> 2入年月日 H. 26年	■ 12月 1
*	注機開名	果尿酮 都印	型開用 総書	9 9 9	9 0 1	TEL 03-1234-5678		会社	所在地	東京都港区赤坂7丁 F	110番20号 ○○ビル5	TEL 03-1234-5678 FAX 03-1234-5678	<u> </u>	L專責任者 則座初大日 查葉記入者 則座初大日	6 6
:	工事名	テスト街路第	透工 事(2)	6-1)		工事種別コード* B - 2	³ 預負金額	+ = + 1 2 3 5	+ = + 5 0 0 0 0	 7 1万円未満四捨五入 0,000円 (税込み) 	志記会額のうち特定論設置対高葉物の 再質慮化等に要した愛用 キョー キョー オファッコンロの未満四緒五入		**		
I	≢施工場∦	東京	❸ 道 _{新宿} 府 県	市 120 _{静地} 町 村		住所コード#4 1 3 1 0 4	도 1위	平成 2 平成 2	364∓ 364∓ :	4月 1日から 1月 31日まで	15 0 0,000円 (税込み) 再資源化等が完了した年月日	建築面積 延床面積	30	m2 階数 m2	地上開 地下開
1	·奉根要等 養災関連	 東京都テスト用 震災が原因による 	解体工事		施工条件の (再生資源 用に関する	内容 の利 特記					平成 25年 9月 30日 建築・解体工事のみ	構造 (数字にOをつける) (数字にOをつける)	1. 鉄骨鉄筋329 4. 3299-ト7 ロック 1. 居住専用 4. 印刷	9-1-1達 20 鉄筋32-01-1-1通 造 5.木造 2. 居住産業併用 5. 干燥 作者所	3.鉄骨遣 6.その他 3.事務所 6.余庫
. x	主政員建設	1171 刑刑 天 爬 殳 資 材 (新材	を含む全体	の利用状況)	左記のう	ち、再生資材の利用]状況			(再生資材を利用した)	場合に記入してください)	※無体工事につい1	(注、建築面積)	を御記入いただかなくて	・ 結構です。 再生資源
9	- 51	小分類 コード*5 現 格	主な利用用途 コード*6	判 用 量 (A) 小数点第一位まで	再生資材の	供給元施設、工事等の;	名称	供給元 2 種類 	格工条件 内容 コード*8	再生資材	の供給元場所住所	住所コード **	±資材の名称 ^再 コード*9 小	生資材利用量(B) 数点第一位まで	利用率 B/A×100
	コンクリート	1 A H		15.0 トン トン 15.0 トン										0.0 F2 F2 0.0 F2	0.0
19 10	コンクリート REARDO-Gut るARROWERT			42 42										<u>۲۷</u> ۲۷	
開設責材	* #			<u>د</u> ب دب										دم دم	
	アスファルト 混合物			עז עז עז										<u>עא</u> עא עא	
+	±ø	1	4	トン 130.0 締めm3 締めm3	【テスト】 平成2	86年〇〇号舗装工事2		1	1	東京都建区赤坂7丁日		13103	1	トン 130.0 締めm3 締めm3	100.0
-	유진	<u>≙</u> #		130.0 ###bm3 m3 m3										130.0 ###/m3 m3 m3	100.0
その他の	102-JU	<u>≙ 1†</u>		m3 kg										m3 kg	
農設賞材	EDM-F	숨 봐		NS kg トン										NS kg トン	
	(080	合計		עא עא עא										+2 +2 +2	
	MERCEN	a H		אע איז										トン トン	
シースをアン1村してしまたり御したま町した化し書し、	リーンになった。 「レーン」のでは、 事件を知った。 事件を知った。 「しん」ので、 事件を知った。 「しん」ので、 「しん」の 「」ので、 「しん」ので、 「」のので、 「しん」ので、 「しん」ので、 「しん」ので、 「しん」ので、 「しん」ので、 「しん」ので、 「しん	いいて、 「こののない」では、 「このので、 「こののない」では、 「こののない」では、 「こののない」では、 「こののない」では、 「こののない」では、 「こ		● 11() ● 11()	7.1555年11.4000日 第一日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	スクト連条地について 電路は、立ちて 電路は、こちて のでいたはなないので、数の内の構成や にのないため、数の内の構成や にのないため、数の内の構成や にのないため、数の内の のので、 ないため、ため、数の内の にのないため、 ない)) ず 6周 の他	用生産増加 2.11 2.11 2.11 2.11 3.11 5.11 5.1 5.1 5.1 5.1 5.1 5.1 5.1 5.1	保助元につう 利用 に単改領()に 二単改領()に また加約 しトックヤー ()	いて 画 画 画 画 一 2 画 2 1 2 二 2 一 2 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	AVT 10日間間の構築が 10日間間の構築が 10日間間の構築が 10日間間の構築 10日間間の 10日間間の 10日間間の 10日間間の 10日間の 10日間間の 10日の 10日の 10	2017 (2007) 日本 (2007) 100 (20	2 日本正常 第二二二二 2 日本正常 二二二二 2 日本正常 二二 2 日本 第二二 2 日本 第二二 2 日本 第二二 2 日本 第二二 2 日本 第二二 2 日本 第二二 2 日本 第二二 2 日本 第二二 2 日本 2 日本 2 日本 2 日本 2 日本 2 日本 2 日本 2 日本	○夏季季(1) ●日本(1) ●日 (1) ●日本(1) ●日 (1) ●日 (1) ●日 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	

図 2-2 再生資源利用計画書(実施書)確認の要点(表面)

(1)

 「工事 ID」が「工事登録証明書」と一致 するか?

(2)

様式名に間違いがないか?
 <施工計画作成時>

様式1・イ 再生資源利用計画書 -建設資材 搬入工事用- -「建設リサイクルガイドライ ン」、「建設リサイクル法第11条通知別表」対 応版-

<施工完了時>

様式1 再生資源利用実施書 -建設資材搬 入工事用- -「建設リサイクルガイドライ ン」、「建設リサイクル法第18条再資源化報 告」、「H24建設副産物実態調査」対応版-

3

・ 「工事概要」に間違いがないか?

(4)

- 「建設資材利用計画(実施)」の内容に間 違いがないか?
 - 施工計画作成時
 - 2. 建設資材利用計画
 - 施工完了時

2. 建設資材利用実施

2.	工事概 建設副)	要 _{表面} 産物搬出	^{(様式} 実施	に1)に必 5	ずご記入	Fさい							建築工事 新築分の	において、 教量を区:	、解体と 分し、そ	:新築工 (れぞれ)	■を一体 別に様式	的に施工する場合は、解体分 を作成して下さい。	Ł	裏	面
*	股副產物	 ①発生量 	1	現場	内利用・	減量			18	塭 从	業出について						幕步會運利用				
1	0 1 1	(318(18))	_	現場内利	用	1	1 <u>1</u> 12	<u> </u>	数出先名称	-10 71	1 117440	搬出先場所	i住所 -		-		東山合	④現場外搬出量	2 1 2 1 1		促進率
	の性状	-2+3+3	2-1 +10	②利用量 (他本本一年年7)	5 5 8 8 9 8 8 9 1 8 8 9 1 8 8 9	2-1	3.211 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2ヶ所ま わたる	で記入できます。3ヶ所以上に 時は、用紙を換えて下さい。	2552108	P189			4	+ = +		2 +13	****	改良分 (第4第一日#7	利用促進量	<u>2:3:5</u> . 0
	コンクリート機	1.0		0.0	0.0			第田元1 第日元1		公共 武制		東京都新留区		3 1 0 4		1 km	5	1.0 ND	0.0 152	1.0	100.0
		1.0		0.0	0.0			業出先1		公共 民間		東京都新宿区	1	3104		1 km	7	1.0 1.2		0.0	0.0
ł	727701-	1.0		0.0	0.0			景出先1 景出先1		公共 武関	<u> </u>	東京都新宿区	1	3 1 0 4		1 km	4	1.0 52	0.0 1-2	1.0	100.0
	コンクリート構	F5		62	κ2			第出先2 第出先1		公共 民間 公共 民間		東京都新宿区		3 1 0 4	HH	kan 1 kan	10	1.0 KD	E2	12	N
	CON109125	1.0						■出先2 ■出先1		公共 民間	İ				Шİ	km	6	N2		6.0 F2	0.0
	CC. NOTICE	1.0		0.0 E2	0.0			費田先2		公共 医胃	<u>†</u>			5 1 10 4	-+++	ka	0	<u>- 44 0.1</u> 44		1.0	100.0
	建設污泥	F 2		12	E.S.		E2	第出先1 第出先2		公共 民間 公共 民間	+			-+++		kan kan		<u></u>	<u>+24</u> 24	E.S.	
	金属くず	1.0						業出先1		公共 民間	ļ	東京都新留区	1	3 1 0 4		1 km	6	1.0 1.2		1.0	100.0
	向きたビニル書	12				-		景出先2 景出先1		公共 民間	<u> </u>					ka		kar l		12	
R	·新子 第プラステック	kg				-		第出先2 第出先1		公共 民間 公共 民間	<u> </u>				+++	km		ka F2		kg	
(R) (R)	(制造化ビニル) ・数平を除く)	F2						業出先2		公共 武関						ka		44		E E	*
-	第四十十	N2						蒙出先2		公共 民間	+			-+++-		ka		<u></u>		E.	
	載くず							第出先1 第田先2		公共 医胃 公共 医胃	ļ			┝┿┿╇	╌╀╌╀╼┥	- kan		<u></u>		6.5	
	75125							第出先1		公共 民間	İ			-+++		ka					
	108058	N2				-		蒙出先1		公共 医胃						ka		N2 N2		10	%
	erusee	E F2				-		第出先2 第出先1		公共 民間 公共 民間						kan -		N2 N2		K2	
	100000	E E						要田先2		公共 武間	İ			111	111	ka		<u>الم</u>		N2	*
	MORE ±	地山山		地山市	地山山			業出先2		公共民間	1			-+++	-++-	ka		「「「」」「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	素白m ³ 素白m ³	地山ma	*
		地山山		地山市	18 Lind			費田先1 費田先2		公共 武師 公共 武師	+			-+++	┝┿┿┩	kan kan			素白rea 素白rea	地山m ³	*
*	N = 11 100044							業出先1 第日年5		公共 民間				-+++		-1		Millim ²	#fim ³		
8		北山		ЖЩm	78Щm			業出先1		公共民間	ţ					ka		総山m ² 約山m ²	考加ma 集前m ³	38Wm3	*
*	MERCHARLE.	<u>粉山</u> 四 20-1	-	#tilim ³	Skillim 0.0			第出先2 第出先1		公共 民間 公共 民間		東京都新宿区		3 1 0 4	1	0 km	2	الإطلاحة 30.1 (طلاحة)	Milima Milima	地山m ³	
±	RELIENCE	80.1	_	3.0 地中	18.Um			●田先2		公共 医胃	<u> </u>			TŤŤ	Ш	ka		粮山m ³	1 film	30.1 地山m3	100.0
	渡道土 (1110年1月1日)()	粮山m		地山市	地山m ¹			●出先2		公共民間	<u>†</u>			-+++		ka			東山m ³ 東山ma	地山m ³	*
	* #	30, 1		Stiller,	States,													30.1 #aulum#	#dim ²	30.1 地山m ³	100.0
		コード+10 1.読録材 3.端長し村 4.その他	2. 💽	84	コード+11 1.情知 3.天日約 4.その他	a 2.	积水	コード 第三条 1.A 2.B (3.首	42 特について 権変戦分 発達時代権変されたもの) 推変戦分(は多されていないが、 注決に戦計変更し権変戦分とされ、 自戦分	たわの)	□- ド+13 【建設典集構 1. 売却 2. 他の記事 4. 中日 6. 中日 6. 中日 6. 中日 6. 中日 6. 中日 6. 中日 6. 中日 6. 中日 6. 中日 6. 中日 6. 中日 6. 中日 6. 中日 6. 世日 6. 世日 6. 世日 7. 中国 6. 世日 7. 世国 6. 世日 7. 世国 6. 世日 7. 世国 7. 世 7. 世 7. 世 7. 世 7. 世 7. 世 7. 世 7. 世	の場合】 2時 1歳による転標 1歳(テスファルト会 1歳(今村プラント回 1歳(今村プラント回 1歳(学前供知)	8.1 9. 10. 計プラント) 外の再算導化] クル)	■執册部数 単執册部数 その他の格5 1股)	分類 (開 分類 (開)	国银分编) 篇极分编)	【開設角 1.豊却 2.他の3 3.他の3 7.22 4.土質 5.土賞 5.土賞 5.土賞 5.人下	生土の場合] 工業変換(両部) 工業変換(両部) 支援うつント(其利用物工事が決定) 20月ブラント(其利用物工事が決定) 20月ブラント(其利用物工事が決定)	 ストックヤー 王事予支持 現石場・沙村 現石場・沙村 日本県和豊新名 11.県常和豊新名 12.県教養生士号 13.県教養生士号 14.県教養生士号 	5 (周期開発工 11)2000 21)2000 21)200 2	事が未決定) (本章 上での受入) 外の受入) 家の主捕働) 入) 業場・満主協分場)

図 2-3 再生資源利用促進計画書(実施書)確認の要点(裏面)

(1)

 「工事 ID」が「工事登録証明書」と一致 するか?

(2)

様式名に間違いがないか?
 <施工計画作成時>

様式2・ロ 再生資源利用促進計画書 -建設 副産物搬出工事用-

<施工完了時>

様式2 再生資源利用促進実施書 -建設副 産物搬出工事用-

(3)

- 「建設資材利用計画(実施)」の内容に間 違いがないか?
 - 施工計画作成時
 - 2. 建設副産物搬出計画
 - 施工完了時

2. 建設副産物搬出実施

2-2. 工事データの確認手順及び要点

受注者が COBRIS に登録した工事データを工事監督員が確認する場合は、COBRIS の工事・文字検索機 能を利用して受注者が登録した工事データを確認します。特に、以下の表に記す建設発生木材、建設汚 泥、建設発生土に関する確認事項は必ずチェックしてください。

なお、その他の注意事項に関しては【別掲資料】を参考にしてください。

※ 工事データの確認手順については8ページの「図 2-4 工事データの確認手順」を確認してく ださい。

· 衣 2⁻⊥ ゞ	建設発生不材、	建設汚泥、	建設発生土に関す	る傩認争塤
-----------	---------	-------	----------	-------

種類	No	項目	留意事項と確認事項
	1	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	《用途の欄》
			現場内利用の対象がある場合は、入力されていること。(事例
			は少ないので本当に該当するかよく確認すること)
			〇 回収泥水に添加剤を加えシールド工等の裏込材として自
			ら利用(現場内利用)した場合は『裏込材』が選択されてい
			ರ್ವ೬
			O 回収泥水をスラリー化安定処理し、流動化処理土としてシ
			ールドエインバート等に自ら利用(現場内利用)した場合
硉			は『埋戻し材』が選択されていること
設発	2	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	《利用量(トン)の欄》
生			以下の場合にはその現場内利用量が入力されていること。
材			〇 回収泥水に添加剤を加えシールド工等の裏込材として自
建			ら利用(現場内利用)した量
設汚			O 回収泥水をスラリー化安定処理し、流動化処理土としてシ
泥			ールドエインバート等に自ら利用(現場内利用)した量
運	2	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	《改良分(トン)の欄》
設	3	是做副產物的 建嵌列配 的现在分词	
設発生	5		、
設発生土に	4	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	(戦人)の(ロンジーは) 改良分の欄は、利用量と同じ量が入力されていること。 《減量法の欄》
設発生土に関す	4	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	 、彼良分の欄は、利用量と同じ量が入力されていること。 《減量法の欄》 以下の場合は便宜的に全て『その他』が入力されていること。
設発生土に関するな	4	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	 改良分の欄は、利用量と同じ量が入力されていること。 《減量法の欄》 以下の場合は便宜的に全て『その他』が入力されていること。 〇 分別量 (水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生)
設発生土に関する確認	4	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	 改良分の欄は、利用量と同じ量が入力されていること。 《減量法の欄》 以下の場合は便宜的に全て『その他』が入力されていること。 〇 分別量 (水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生 土となったもの)
設発生土に関する確認事項	4	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	 改良分の欄は、利用量と同じ量が入力されていること。 《減量法の欄》 以下の場合は便宜的に全て『その他』が入力されていること。 〇 分別量 (水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生 土となったもの) 〇 分級量 (分級土搬出量)
設発生土に関する確認事項	4	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	 改良分の欄は、利用量と同じ量が入力されていること。 《減量法の欄》 以下の場合は便宜的に全て『その他』が入力されていること。 〇分別量(水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生 土となったもの) 〇分級量(分級土搬出量) 〇処理工程による脱水量(脱水した水の量)
設発生土に関する確認事項	4	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	 改良分の欄は、利用量と同じ量が入力されていること。 《減量法の欄》 以下の場合は便宜的に全て『その他』が入力されていること。 〇 分別量 (水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生 土となったもの) 〇 分級量 (分級土搬出量) 〇 処理工程による脱水量 (脱水した水の量) 〇 処理工程により泥状を呈しなくなった量
設発生土に関する確認事項	4	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用 建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用 建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	 改良分の欄は、利用量と同じ量が入力されていること。 《減量法の欄》 以下の場合は便宜的に全て『その他』が入力されていること。 〇分別量(水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生 土となったもの) 〇分級量(分級土搬出量) 〇処理工程による脱水量(脱水した水の量) 〇処理工程により泥状を呈しなくなった量 《減量化量(トン)の欄》
設発生土に関する確認事項	4	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用 建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用 建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	 改良分の欄は、利用量と同じ量が入力されていること。 《減量法の欄》 以下の場合は便宜的に全て『その他』が入力されていること。 〇分別量(水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生 土となったもの) 〇分級量(分級土搬出量) 〇処理工程による脱水量(脱水した水の量) 〇処理工程により泥状を呈しなくなった量 《減量化量(トン)の欄》 以下の合計が入力されていること。
設発生土に関する確認事項	4	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用 建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用 建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	 改良分の欄は、利用量と同じ量が入力されていること。 《減量法の欄》 以下の場合は便宜的に全て『その他』が入力されていること。 〇分別量 (水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生 土となったもの) 〇分級量 (分級土搬出量) 〇処理工程による脱水量 (脱水した水の量) 〇処理工程により泥状を呈しなくなった量 《減量化量(トン)の欄》 以下の合計が入力されていること。 〇分別量 (水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生
設発生土に関する確認事項	4	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用 建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	 改良分の欄は、利用量と同じ量が入力されていること。 《減量法の欄》 以下の場合は便宜的に全て『その他』が入力されていること。 〇分別量(水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生 土となったもの) 〇分級量(分級土搬出量) 〇処理工程による脱水量(脱水した水の量) 〇処理工程により泥状を呈しなくなった量 《減量化量(トン)の欄》 以下の合計が入力されていること。 〇分別量(水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生 土となったもの)
設発生土に関する確認事項	4	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用 建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	 改良分の欄は、利用量と同じ量が入力されていること。 《減量法の欄》 以下の場合は便宜的に全て『その他』が入力されていること。 〇分別量 (水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生 土となったもの) 〇分級量 (分級土搬出量) 〇処理工程による脱水量 (脱水した水の量) 〇処理工程により泥状を呈しなくなった量 《減量化量(トン)の欄》 以下の合計が入力されていること。 〇分別量 (水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生 土となったもの) 〇分級量 (分級土搬出量)
設発生土に関する確認事項	4	建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用 建設副産物の「建設汚泥」の現場内利用	 改良分の欄は、利用量と同じ量が入力されていること。 《減量法の欄》 以下の場合は便宜的に全て『その他』が入力されていること。 〇分別量 (水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生 土となったもの) 〇分級量 (分級土搬出量) 〇処理工程による脱水量 (脱水した水の量) 〇処理工程により泥状を呈しなくなった量 《減量化量(トン)の欄》 以下の合計が入力されていること。 〇分別量 (水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生 土となったもの) 〇分級量 (分級土搬出量) 〇分級量 (分級土搬出量) 〇分級量 (分級土搬出量) 〇 分級量 (分級土搬出量) 〇処理工程による脱水量 (脱水した水の量)

	6	建設副産物の「建設発生木材」の現場外	《搬出先の種類の欄》
		搬出	熱回収(サーマルリサイクル)施設の場合は「6. サーマル」を入
			カ、チップ化施設、選別施設の場合は、「5. 中間合外」を入力
			すること。
-	7	建設副産物の「建設汚泥」の現場外搬出	《搬出先の種類欄》
			1. 海面処分場の覆土材利用(個別指定による工事間利用)
			は全て「2.他工事」が入力されていること
			2. 再資源化施設(中間処理施設)に搬出した場合は全て「5.
			中間合外」が入力されていること
			3. いかなる場合も、「2.他工事」、「5.中間合外」以外が入力
			されていてはならない
			4. 一体の施エシステム内での処理工程により建設発生土と
			なった場合は、この画面に入力されていてはならない。必
			ず、建設発生土の画面で入力されていること
	8	建設副産物の「建設汚泥」の現場外搬出	《現場外搬出量(トン)の欄》
			実際に現場外へ搬出した量のみ入力されていること。
			注) 泥水か泥土状の建設泥土として現場外へ搬出するものだ
			けを入力すること。減量化量(分別量、分級量、処理工程に
			よる脱水量、処理工程により泥状を呈しなくなった建設発生
_			土の量)は絶対に加算してはならない。
	9	建設副産物の「建設汚泥」の現場外搬出	《改良分(トン)の欄》
_			改良分の欄は、「O」となっていること。
	10	建設副産物の「第一種建設発生土」~「第	《搬出先の種類の欄》
		四種建設発生土」、「浚渫土」の現場外搬	1. 工事間利用、UCR 事業地の場合は、「2. 他工(陸)」が入
		出	力されていること。
		※ 指定処分(A)は、以下のいずれかが	2. 東京都建設発生土再利用センター、青梅建設発生土再利
		選択されていることが基本となります。	用事業所、中川プラント、民間の土質改良プラントは「4. 改
		1. 売却	プラ(決)」が入力されていること。
		2. 他工(陸)	3. 埠頭(株)の中防内側受入基地は「6.スト(決)」が入力さ
		3. 他工(海)	れていること。
		4. 改プラ(決)	4. 埠頭(株)の新海面処分場、大井埠頭その1・その2間埋
		5. 改プラ(未)	立事業用建設発生土受入地は「3.他工(海)」が入力されて
		6. スト(決)	いること。
			5. 指定処分(B)、(C)は「14. 受入(民)」が入力されているこ
			٤°
			※ ただし、宅地造成、土地改良等の土砂利用計画が明確で
			ある場合は「2. 他工(陸)」を選択すること。

2-2-1. 工事データの確認手順

受注者が COBRIS に登録した工事データを工事監督員が確認するときの流れは、以下の図のようになります。



図 2-4 工事データの確認手順

- ※1 各画面イメージについては9ページ以降を参考にしてください。
- ※2 詳しい操作手順については COBRIS の操作マニュアルをご覧ください。
 操作マニュアルについては、JACIC 建設副産物情報センターのホームページからダウンロードできます。
 URL http://www.recycle.jacic.or.jp/

◆ ② 参 http://www.recycle.jacic.or.jp/ ・ ク ・ ク ◎ 建設副癌物情報センタ・	×		
建設副産物情報センター JACIC TOP HOME 副産物システム N 詳土システ	ム IN よくある質問FAQ ま	JへCIC ^{ー制度型人} 部度である。 Tング集 別の合わせ リング集	
お知らせ	メンテナンス情報	[副産物システム IN]	をクリックし、
2014/10/27 【副産物・発生土システム】発注機関ロード及び住所ロードを更新しまし 【NEW】 た。 一、 <u>剤スはこちら</u>	※現在、予定されているメンテナンス	COBRIS へ接続します。	
2014/04/11 【副廃物・発生土システム】更新されないユーザのシステム利用停止を行 いました。- 二事発注者・排出事業者 - ー 割 (ゴー こち)	地図検索イメージ		
- 100016-2012/11/01 - 回産物 発生土システム】無料お試、サービスのご築内 - 工事発注者 - 一社人はころら	平成23年度に副産物システムに実装。 [工事検索の例] <u>[拡大]</u>	,た地図検索のイメージ画面です。 -	
2013/08/04 国産物システム等3集計等をされる場合の注意点について <u>北</u> 東 →乱くはころら → <u>温太のお知らせ</u>		2013年始時後回(例1) (単生土システムの場合1) (1)	
副 近物 死生土	問い合わせ先	建設リサイクル関連リンク	
	建設副庭物情報センター 〒107-0416 東京都超区赤坂7丁目10番20号 アガガカセブンスアヴェニュービル2F TEL: (00)585-6410(創産物) (00)585-640(停住主) FAX: (00)585-6400(停住主)	 詳しい情報は 国土交通後以サイクルホームページ 中心温度効実際結實(ヤンサス) 建設リサイクル推進計画2014 一般向けの情報も 可能回にないサイクル広報推進 会議ホームページ2 	
 副産物システム利用規約 推奨環境について 		 ・ 進止処埋を推進 (公社)全国産業廃棄物連合会 	€ 100% ▼

図2-5 建設副産物情報センターホームページ

※ 建設副産物情報センターホームページ

URL http://www.recycle.jacic.or.jp/

◆ ② ● https://www3.recycle.jacic.or.jp/f ク < ● ○ ② 建設副産物情報交換シス ×	
建設副産物情報交換システム ログイン画面	^
バスワード 「ログイン」のJア 「スワード変更	ID」、「パスワード」を入力し、 ⁄] をクリックします。
ロヴィン構の注意 ※ ユーザD、初期パスワードは「美字」は半角大文字、「数字」は半角文字 で入力してたさい。 ※ エラーメッセージが出る場合はユーザD、パスワードに間違いがないか、 利用更新の手様が気んでいるかを利用代表者へ確認してたさい。 ※ その他、ログインに関するお問合せは「よくある質問FAG」をご確認くたさい。	
	€ 100% ▼

図2-6 ログイン画面







図 2-8 公共工事発注者情報

🥝 建設副産物情報交換シス	ステム - Internet Explorer	• • * •	
Https://www3.recycle	de.jacic.or.jp		
建設副産物情報	交換システム 工事・文字検索条件設定		
工事情報接索 違のり 文 字	工事D ※工事D を検索条件とした場合は、以下のその他の検索条件は反映されません。 竣工工期 H 26 文年 4 文月 1 文日 から H 27 文年 3 文月 31 文日 まで 場所 摘定無し 運 東 に立地し以下の条件全てに当てはまる工事を検索します。		
道のり 文 字 リンク 関連情報		をク 。 文字権	リック 食索)」
		~	
	et 1009	6 •	

🧭 建設副産物情報交換システム - Internet Explorer				
https://www3.recycle.jacic.or.jp				
建設副産物情報交換システム <mark>排出</mark>	事業所・工事基礎情報			
	CREDAS) 建設資材利用実績 建設副産物強出実績	10条様式 各種書類の印刷		
1 11 <t< td=""><td>事来所情報 ブンスアヴェニュービル recycle@jacic.or.jp 工事基礎情報</td><td>建設副産物実態調査に 確認は、本画面及び「図 2-13」で表示される 行います。</td><td>関する情報 2-12」、「 画面で確認</td><td>の図を</td></t<>	事来所情報 ブンスアヴェニュービル recycle@jacic.or.jp 工事基礎情報	建設副産物実態調査に 確認は、本画面及び「図 2-13」で表示される 行います。	関する情報 2-12」、「 画面で確認	の図を
<u>税注者</u> 発注機関: 副度物センター メンテナンス1 担当者名: 速载大郎 TEL: 03-1234-5678	諸負会社 加盟団体名:その他の加盟団体又は 諸負会社名:(林)の公理設 フリガチ:マルサンケンセッ 代表者氏名:副屋物太郎 フリガチ:フクサンテンタロウ でした。 空間安装計可番号:国土交通大臣一般999 解体工事業登録番号: 〒:107.8416 会社所在地:東京部港区赤坂7丁目 石E:03-1234-5678 FAX:03 工事者任者:主任技術者・監理技術: 間音票記入者:副庭物太郎	団体に属さない 1981号 10番20号 ocビル5F 5-1234-5678 者(建設業の場合) 副産物太郎	× 100% ×	

図2-11 排出事業所·工事基礎情報

 · 建設副臺物情報交換システム - Internet Explorer · · ·	
Shttps://www3.recycle.jack.or.jp	
CREDAS 建設副產物搬出実施一覧	
建設副座物情報交換システム CREDAS 事業所・工事基礎情報 再生資材利用(詳細) 建設副庭物搬出(詳細) 建設資材利用実績 建設資材利用実績 10条様式 各種書類の印刷	
工事情報技術 コンクリート場 建設木材A アス・コン境 その他がれき類 建設木材B 建設汚泥 金属くず 第のり 文 字 施力方ステック 施石青ボード 紙くず アスペスト その他 建設温台県集物 第二個建設発生土 第二個建設発生土 第三個建設発生土 第四個建設発生土 第四個建設発生土 波深土	
まの5 ママンクリート塊 調査価格検索 実施	
文字 (A)発生量(トン) 規準化 (A)=(B)+(C)+(D)用途(B)利用量(トン)放员が(トン)減量法(C)減量化量(トン) (F)利用に近望 (F) (F) (F) (F) (F) リンク 170.0 0.0 0.0 - 170.0 100.0%	
(1件中1~1件目を表示)	
現場外搬出について	
撤出先名称 施工条件 抛出先の種類 現場外搬出 撤出先場所(市区町村名) 撤出先場所(地先) 区分 進搬距離(km) (D)環場外搬出量(トン) 改良分(トン) cs/)サイクル 天間 1.4指定 5.中間合外 170.0 0.0	
各品目のボタンをクリックすると リックした品目のボタンの色が し、品目画面が表示されます。 入力のある品目毎に確認を行いま	、 ク 反転 す。

図 2-1 3 建設副產物搬出実施一覧

2-2-2. 工事データの確認要点

受注者が COBRIS に登録した工事データを工事監督員が確認するときの要点は以下の図のようになります。

図2-14 現場内利用の確認要点(建設汚泥)

(1)

- ・回収泥水に添加剤を加えシールド工等の裏込材として自ら利用(現場内利用)した場合は、『裏込 材』が選択されていること。
- ・回収泥水をスラリー化安定処理し、流動化処理土としてシールドエインバート等に自ら利用(現場内利用)した場合は『埋戻し材』が選択されていること。

※ 現場内利用の事例が少ないので、本当に該当するか確認すること。

【②】

- ・ 利用量は以下の場合にはその現場内利用が入力されていること。
 - 回収泥水に添加剤を加えシールド工等の裏込材として自ら利用(現場内利用)した量。
 - 回収泥水をスラリー化安定処理し、流動化処理土としてシールドエインバート等に自ら利用 (現場内利用)した量。

(3)

・ 改良分は、利用量と同じ量が入力されていること。

🥝 建設副産物情報	読捗システム - Internet Explorer	
enttps://www.	3.recycle.jaci.cr.jo	
CREDAS		~
	建設副生物版西美施一見	
	建設副産物情報交換システム CREDAS	
	事業所・工事基礎情報 再生資材利用(詳細) 建設副産物搬出(詳細) 建設資材利用実績 建設副産物搬出実績 10条様式 各種書類の印刷	
丁事情報検索		
道のり	コンクリート境 建設木材A アス・コン境 その他がれき類 建設木材B 単設形形 金属くず	
* *	魔塩化ビニル管・継手 魔プラスチック 魔石管ボード 紙くず アスペスト その他 建設混合廃棄物	
(`	第一種建設発生土 第二種建設発生土 第三種建設発生土 第四種建設発生土 浚渫土以外の泥土 浚渫土	
施設情報検索		
道のり		
文 字	净孔工识	
调本体合于	建议方池	
調査価格検索	● 実施	
X ¥	(A)発生量(トン) 現場内利用 道量化 (D)現場外搬出量合計(E)再生資源利用促進量 再生資源利用促進率 (A)=(B)+(C)+(D)用途(B)利用量(トン) 改良分(トン) (d)+(C)+(E))/(A)+100	
リンク	620.0 裏込 100.0 100.0 その他 20.0 500.0 500.0 100.0%	
関連情報		
	(1件中1~1件目を表示)	
	現場外搬出について	
	额山生之行 技工名件 额山生心经验 泪根从额山	
	OOUサイクルセンター R間 1.A指定 5.中間合外 5000 0.0	
	東京都港区 赤坂7丁目 2004 8 2006 200	
		~
		€ 100% •

図 2-15 減量化の確認要点(建設汚泥)

- ・ 減量法は以下の場合は便宜的に全て『その他』が入力されていること。
 - 分別量 (水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生土となったもの)。
 - 分級量 (分級土搬出量)
 - 処理工程による脱水量 (脱水した水の量)
 - 処理工程により泥状を呈しなくなった量

【②】

- ・ 減量化量(トン)は以下の合計が入力されていること。
 - 分別量 (水切り、仮置き等により泥状を呈さず建設発生土となったもの)。
 - 分級量 (分級土搬出量)
 - 処理工程による脱水量 (脱水した水の量)
 - 処理工程により泥状を呈しなくなった量

🧉 建設副産物情報交換システム - Internet Explorer	- • •
https://www3.recycle.jacic.or.jo	<u></u>
CREDAS 建設副產物搬出実施一覧	^
建設副産物協種交換システム CREDAS 事業所・工事基礎情報 再生資材利用(詳細) 建設副産物激出(詳細) 建設資材利用実績 注記回産物燃出実績 10条株式 各種書類の 工事情報検索 当のり 文 字 コンクリート境 建設オ材用 第二個建設発生 第二個運設発生 第二個運設発生 第二個運設発生 第二個運設発生 第二個運設発生 第二個運送発生 第二人 二人	9 m
違のり 実施 (a)発生量(トン) 現場内利用 演量化 (D)現場外搬出量合計 (E)再生資源利用促進量 再生資源利用促進 リンク (B)平(C)+(D) 用達 (B)利用量(トン) 改良分トン) (法量化 (トン) (C)の(C)+(D)/(A) 10.0 0.0 0.0 - - 10.0 10.0 10.0 現場外搬出について 現場外搬出について 10.0 10.0 10.0 10.0 10.0	進車 *100 0.0%
撤出先場所(市区町村名) 撤出先場所(地生) 区分 施工条件 施出先の種類 現場外撤出 協出先場所(市区町村名) 撤出先場所(地生) 区分 運搬距離(km) (D)現場外撤出量(トン) 改良分(○○施設 人共 1.4指定 6.サーマル 10.0 - 東京都港区 5 10.0 -	·)) •
	🔍 100% 🔹 🔡

図 2-16 現場外搬出量の確認要点(建設発生木材)

・ 熱回収(サーマルリサイクル)施設の場合は「6.サーマル」を入力、チップ化施設、選別施設 の場合は、「5.中間合外」を入力すること。

🥝 建設副産物情報	交換システム - Internet Explorer	- • •
https://www3	3.recycle.jacic.or.jo	a
CREDAS	建迅速 "你你你是'学'你""你	^
	建設副産物情報交換システム CREDAS	
	事業所・工事基礎情報 再生資材利用(詳細) 建設副産物撤出(詳細) 建設資材利用実績 <u>延記知道(話)初日受新</u> 10条株式 各種書類の印刷	
工事情報検索 道のり 文 字 施設情報検索	コンクリート境 建設木材A アス・コン境 その他がれき預 建設木材B 建設元定 金属くず 魔塩化ビニル管・銀手 廃フラスチック 廃石青ボード 紙くず アスペスト その他 建設混合廃棄物 第一種建設発生土 第二種建設発生土 第三種建設発生土 第四種建設発生土 波藻土以外の泥土 波澤土	
文字 調査価格検索 道のり	建設汚泥 _{実施}	
文 字 リンク	(A)発生量(トン) 現場内利用 減量化 (D)現場外撤出量合計(E)再生資源利用促進量 再生資源利用促進車 (A)=(B)+(C)+(D) 用達(B)利用量(トン) 改良分(-ン) 減量化 (トン) (Fン) (B)+(C)+(C) (B)+(C)+(C) (B)+(C)+(C) (A)+(C)+(C) (A)+(C)+(C) (B)+(C)+(C) (B)+(C)+(C) (A)+(C)+(C) (A)+(C)+(C) (A)+(C)+(C) (B)+(C)+(C) (A)+(C)+(C) (A)+(C)+(C) (A)+(C)+(C) (A)+(C)+(C)+(C) (A)+(C)+(C)+(C) (A)+(C)+(C)+(C)+(C)+(C)+(C)+(C)+(C)+(C)+(C	
関連情報	(1件中1~1件目を表示)	
	現場外撤出について ① ② ③	
	東京都港区 赤坂7丁目 氏間 5.0 0.0	
		~
		€ 100% · "i

図2-17 現場外搬出量の確認要点(建設汚泥)

- ・ 搬出先の種類について。
 - 海面処分場の覆土材利用(個別指定による工事間利用)は全て『2.他工事』が入力されていること。
 - 再生資源化施設(中間処理施設)に搬出した場合は全て『5.中間合外』が入力されている こと。
 - いかなる場合も、 『2.他工事』、『5.中間合外』 以外が入力されていてはならない。
 - 一体の施工システム内での処理工程により建設発生土となった場合は、この画面に入力されていてはならない。必ず、建設発生土の画面で入力されていること。

【②】

- ・ 現場外搬出量は実際に現場外へ搬出した量のみ入力されていること。
 - (注) 泥水か泥土状の建設泥土として現場外へ搬出するものだけを入力すること、減量 化量 (分別量、分級量、処理工程による脱水量、処理工程により泥状を呈しなく なった建設発生土の量)は絶対に加算してはならない。

【③】

・ 改良分は『0』となっていること。

🥝 建設副産物情報	交換システム - Internet Explore	er					_ = •
Attps://www3	.recycle.jacic.or.jo						a
工事情報検索 道のり 文 字 施設情報検索	コンクリート境 建設 廃塩化ビニル管・銀手 廃プラ 第一種建設先生主 第二種道	木材A アス・コン境 スチック 廃石膏ボード 歳段発生土 第三幅建設発生:	その他がれき 紙<ず 第四種建設発生		建設汚泥 その他 浚渫土	金属くず 建設混合廃棄物	^
x *		1	第一種建設	設発生土			
調査価格検索 道のり	스타		実加	施			
文 字 リンク	(A)発生量(地山m3) (A)=(B)+(C)+(D) 用途。	現場内利用 (B)利用量 改良分 (地山m3) (地山m3) 減量	減量化 (C)減量化量	D)現場外搬出量合計 (地山m3)	(E)再生資源利用促進量 (地山m3)	再生資源利用促進率 〈(B)+(C)+(E)〉/(A)*100	
関連情報	3000.0 -	2000.0 0.0 -	- -	1000.0	1000.0	100.0%	
			第一種建調	没発生土			
	(A)発生量(地山m3) (A)=(B)+(C)+(D) 用途	現場内利用 (B)利用量 改良分 (地山m3)(地山m3)	減量化 ;量法 (C)減量化量	(D)現場外搬出量合計 (地山m3)	(E)再生資源利用促進量 (地山m3)	再生資源利用促進率 ((B)+(C)+(E)) / (A)*100	
	3000.0 埋戻し 材	2000.0 0.0		1000.0	1000.0	100.0%	
			〈1件中1~1件 現場外搬出	キ目を表示) リについて ①			
	一 搬出先名 搬出先場所(市区町村名) (有)ムムリサイクルセンター	2称 区 撤出先場所(地先) 区	分 施工条件 運搬距離(km) m 1.A指定	搬出先の種類) (II 1.売却	現場外船))現場外搬出量(地山m3) 1000	後出) 改良分(地山m3)	
	東京都港区	赤坂7丁目 氏			1000	0.0	
							€ 100% •

図2-18 現場外搬出量の確認要点(建設発生土)

- ・ 搬出先の種類について。
 - 工事間利用、UCR事業地の場合は、『2.他工(陸)』が入力されていること。
 - 建設発生土再利用センター、青梅建設発生土再利用事業所、中川プラント、民間の土質改良 プラントは、『4. 改プラ(決)』が入力されていること。
 - 埠頭(株)の中防内側受入基地は『6.スト(決)』が入力されていること。
 - 埠頭(株)の新海面処分場、大井埠頭その1・その2間埋立事業用建設発生土受入地は『3.
 他工(海) 』が入力されていること。
 - 指定処分(B)・(C)は『14.受入(民)』が入力されていること。
 ※ ただし、宅地造成、土地改良等の土砂利用計画が明確である場合は、『2.他工(陸)』
 を選択すること。
 - ※ 指定処分(A)は、『1~6』が入力されていることが基本となります。
 『1. 売却』、『2. 他工(陸)』、『3. 他工(海)』、『4. 改プラ(決)』、
 『5. 改プラ(未)』、『6. スト(決)』

2-3. チェックリストによる確認の要点

チェックリストによる確認の要点は以下となります。 なお、その他の注意事項に関しては【別掲資料】を参考にしてください。

- ① COBRIS に接続し、チェックリストを作成し確認する。
- ② チェックリスト作成時に、「検索対象にエラーがありません」と出たときは、「確認済みマーク」 を実行する。
- ③ チェックリストが作成された場合はリストを確認し、受注者に工事情報の確認及び修正を指示する。リストの確認方法については以下からダウンロードできる「チェックリスト解説書(COB R I S 発注者用)」を参考のこと。

【チェックリスト解説書(COBRIS発注者用)のダウンロード】 http://www.recycle.jacic.or.jp/

2-3-1. チェックリストによる確認方法

受注者が COBRIS に登録した工事情報を工事監督員がチェックリストを作成して内容を確認するときの流れは以下の図のようになります。

図 2-19 チェックリストによる確認手順

- ※1 各画面イメージについてはパワーポイント資料(COBRISにおける調査データの確認手順と各種機能について)を参考にしてくだ さい。
- ※2 詳しい操作手順については COBRIS の操作マニュアルをご覧ください。
 操作マニュアルについては、JACIC 建設副産物情報センターのホームページからダウンロードできます。
 URL http://www.recycle.jacic.or.jp/

🥖 建設副度	植物情報 :	交換シ	ステム・	Internet Explo	orer													- 0	×	
e https:/	/www3	.recyc	le.jacic.c	or.jp															-	
建設副	间産物	情報	交換シ	マテム																
								工事一賢	〕(文字	検索)										
工事情報道の	験索り								(5件	中1~5件目を	表示)									
X :	÷	各種書類の印刷 各種書類の印刷(全件データ)																		
施設情報	味った	出力	工事ID	事業所	調査区分	竣工 年度	発注機関	工事名	工事種別	工事場所	(地先)	着工	竣工	チェックリスト の確認状態	事業所 工事情報	地図	工事情報 更新	工事情報 削除		
道の	U U		1337225	[排]副産物メン テナンス(17)	実施	H26	副産物セン ター メンテナ ンス1	∘∆म्ता	修繕・模様 替え(建築)	東京都港区	赤坂	H26/07/10	H26/10/1	チェック法 み	表示)	表示)	更新	削除		
文:調査価格	字		2274547	[排]副産物メン テナンス(17)	実施	H26	副産物セン ター メンテナ ンス1	【テスト】00 町00号舗装 修繕工事(実 施のみ)	築堤(河 川)	東京都港区	赤坂7丁目 10番20号	H26/10/14	4 H26/10/1:	9 =17533	表示	表示)	更新			
道の (文 :	♥ ₹		1380526	[排]副産物メン テナンス(17)	実施	H26	副産物セン ター メンテナ ンス1	【テスト】平成 26年度00号 舗装工事2	舗装(道 路)	東京都港区	赤坂7丁目 10番20号	H26/04/0	H26/10/0	確認済み	表示)	表示	更新			
リング			2347948	[排]副産物メン テナンス(17)	実施	H26	副産物セン ター メンテナ ンス1	テスト新築都 営住宅電気 設備関係工 事。	その他(道 路)	東京都港区	赤坂5丁目 11番地から7 丁目10番地 先間	H23/05/0	1 H27/03/3	(7=1/34)	表示	表示)	更新			
			1787047	[発]副産物メン テナンス(29)	実施	H26	副産物セン ター メンテナ ンス1	【テスト】201 40526_。 _帳票確認	改良(道 路)	東京都港区	赤坂	H26/04/0	H26/10/0	未確認	表示	表示)	更新	削除		
																			_	<u> </u>
										う 戻る			[チュ	ニック	リス	F	の確	認状	[態]	欄の
												_	[未確	翻(またし	よ、	チョ	ニック	7済、	、依頼
	,	項目名	をクリック	すると、その項	(Bict	いて	昇順で並び替え	ができます				4	□、 稱	崔認待 [、]	ち、	確認	忍済。	み)]	を	クリッ
												ク	する	らと、ラ	チェ	ック	リフ	く トカ	ゞダ	ウンロ
												-	-ドて	ぎきる	「汊	2-	2 1	チ	T	ックリ
												7	くトの)内容码	雀認_	」カ	「表え	下され	1ま	す。

図 2-20 工事一覧(文字検索)

図2-21 チェックリストの内容確認

工事 I D:1380526 調査区分:実施	工事名称:【テン	マト】平成26年	度〇〇号舗装工事2
発注担当者:建設太郎	工事種	類:B−2 舗装(ji	道路)
請負金額:12,350,000万円	工期:	H26年4月1日~H2	6年10月1日
発生箇所	入力値	エラー内容(※	は必須) コメント
工事概要 延床面積	60	5.工事種別	建築系の工事以外で延床面積等が入力され います。
工事概要 建築面積	30	5.工事種別	建築系の工事以外で延床面積等が入力され います。
工事概要	2	5.工事種別	建築がの工事以外で延床面積等が入力され
工事概要	12350000	 リンジューハー 	データの再確認をして下さい。(異常値の
雨只並領 様式1・【土砂】 再生資材利用量	130.0	19. 不整合	がかめりまり。) 対応する現場内利用が無いか、供給元が 場内」となっていません。
		チ 供 (だ	ェックリストの解説は JACIC より されている「チェックリスト解説 COBRIS 発注者用)」を参考にして さい

図 2-2 2 チェックリスト (PDF 形式)

工事データの確認時における注意事項

(1) 受注者から「工事登録証明書」及び「再生資源利用[促進]計画書(実施書)」が提出されているか、 必ず確認してください。

受注者が COBRIS を利用した場合は、CREDAS 入力システムを利用した場合と比べて提出書類に以下の違いがあります。

- ① 「工事登録証明書」を印刷することができます。
- ② 「再生資源利用[促進]計画書(実施書)」の右上に『建設副産物情報交換システム 工事 ID: XXXXXX 』が明記されています。
- (2) 建設廃棄物の現場外搬出時の『搬出先の種類』に【10. 他】が選択されている場合は、必要に応じて選択し直してください。

※ 『搬出先の種類』が【10. 他】の場合は、リサイクル率に計上されません。 リサイクル率に 計上される他の選択肢があてはまる場合がありますので、搬出先は必ず確認してください。

(3) 建設発生土の「第一種建設発生土」~「第四種建設発生土」、「浚渫土」の現場外搬出時は、以下 のフローに基づいた『搬出先の種類』が正しく選択されているか、必ず確認してください。 ※ 詳細は p.7 をご参照ください。

図 2-6 『搬出先の種類』の選択基準フロー

(4) 工事データの記載内容の確認は、必ず COBRIS のチェックリストで確認してください。

※ 工事データの記載漏れは COBRIS を使用していれば問題ありませんが、記載内容の入力ミス等 はチェックリストを出力しないと確認することはできません。